

組 織 部

2022年度の活動報告

1) ふたたび増勢に転じる 年間+36-31=+5名

2017年春からの「県連盟300名回復3カ年計画」では、全会が「仲間づくり目標」を持ち、3年間で+98人-85人の奮闘・成果となりました。目標の300名には届きませんでしたが、全国がジリジリと後退する中で、13名の増は大きな成果です。

一昨年2020年度は、コロナに戸惑いましたが、+50-46人で増勢になりました。困難な中でも、入会者が例年より5割増しになりました。

昨年2021年度は、新型コロナ騒動の深刻化と、会長の死去に伴う「坂出ハイキングクラブ」の解散で、年間増減は+41-51名となり、5年ぶりに減勢となりました。

この間、夏の拡大三役会議や毎月の理事会で、各会の取り組みを交流し、仲間づくりの具体的な手立ての論議を行ってきました。また、「県連盟だより」を毎月発行し、運動を鼓舞してきました。その結果、全県では+36-31の5名増となりました。特に2020年春の県連総会で決定した「東部地区会員倍加委員会」の取り組みが前進し、高松や山歩会で大きな成果に結びついたことは、全県の仲間を勇気づけています。

《300会員回復3ケ年計画からの進行状況》

2023.2

	起点数 17.2末	3カ年計画+2年 17.03~22.02	昨総会 22.02	22年3月~23.02 年間増減	2023.02 会員数 家	各会総会 目標 残	300 最低
高松労山	24	+10-13=▼3	21	+9-1=◎8	29	25 +4	41
高松ハイク	11	+5-12=▼7	4	=0	4 1	6 2	19
さぬき山歩会	18	+29-19=◎10	28	+15-6=◎9	37 3	35 +2	31
五色の峰	7	+12-8=◎4	11	-2=▼2	9	12 3	12
丸亀しわく	47	+41-24=◎17	64	+6-6=0	64 6	65 1	57
善通寺	60	+40-35=◎5	65	+2-10=▼8	57 9	70 13	72
観音寺おぼろ	30	+29-16=◎13	43	+4-3=◎1	44 2	47 3	36
観音寺ハイ	27	+6-9=▼3	24	-3=▼3	21	25 4	33
県合計	253	+189-182=◎7	260	+36-31=◎5	265 21	285 20	300
坂出山-ハイ	29	+15-44=▼29	※300会員最低目標は 2017.2現勢の東讃は7割増し、西讃は2割増し。				

2) この間の仲間づくり運動の教訓

☆ 安全で楽しく、多様な山行が活動の原点です。そして、会員からの口コミを土台に、その活動を地域の登山愛好者に知らせる、知ってもらう取り組みを抜本的に強めることが、仲間づくり運動の根幹です。

☆ 会やクラブの運営をリードする「運営委員会(リーダー会など)」=みんなが力を発揮する「集団指導態勢」の確立と充実が重要です。

☆ 仲間づくり運動は、「会の活動量」や「会の総合力」に比例します。